

2022年04月 現在

## MeFt V10a (V10.0.1)

MeFtは、利用者プログラムがプリンタ装置に出力を行う際に呼び出される、実行時ライブラリです。プリンタ装置に固有なハードウェア制御を行います。プリンタ装置に印刷する帳票の体裁は、あらかじめ画面帳票設計ツール(Windows版のFORM)を使って作成しておきます。体裁情報は画面帳票定義体、帳票定義体およびフォームオーバーレイパターンとして、利用者プログラムとは独立して管理されます。

- ・ サーバ

SPARC Servers / SPARC Enterprise Mシリーズ / SPARC Enterprise Tシリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント

- ・ サーバ

Solaris 11(64bit) / Solaris 10(64bit)

## 1. セールスポイント

- ・面倒なプリンタの制御をMeFtが行います。プログラムは業務固有の処理に専念できます。
- ・フォームオーバーレイパターンを利用することで、きめ細かな表現の帳票を高速に印刷できます。
- ・写真・地図等のイメージデータを含んだ帳票を印刷できます。
- ・PrintWalker/BPCまたはPrintWalker/BPC-EXと組み合わせて使用することで、PrintPartner VSPシリーズ(以下VSPシリーズと略します)への印刷が可能になります。
- ・Interstage List Works Standard EditionまたはInterstage List Works Enterprise Editionと組み合わせて使用することで、MeFtの帳票の電子化が可能になります。
- ・Interstage List Creator Enterprise Editionと組み合わせて使用することで、印刷結果をPDF形式のファイルに出力できます。

## 2. 機能詳細

利用者プログラムはMeFtが提供する以下の機能を利用して、効率よくプログラムを作成することができます。

。

帳票：

- ・数字データの編集機能

数字データの編集機能として、円記号、カンマおよび符号などの組み合わせによる約50種類の編集パターンを提供します。

- ・項目の属性

項目の属性として、色、背景色、下線、拡大が指定できます。また、色、下線は、利用者プログラムから実行時に動的に変更することができます。

- ・罫線/網かけ

罫線の属性として、細線/太線、実線/点線/一点鎖線/破線、色を指定することができます。また、網かけの種類は、10種類を用意しています。

- ・フォームオーバーレイ

帳票定義体とオーバーレイパターンを重ねて印刷することができます。

- ・画像データの印刷

Windowsビットマップ、TIFF、JPEG、PNGなどの画像データを拡大/縮小して印刷することができます。

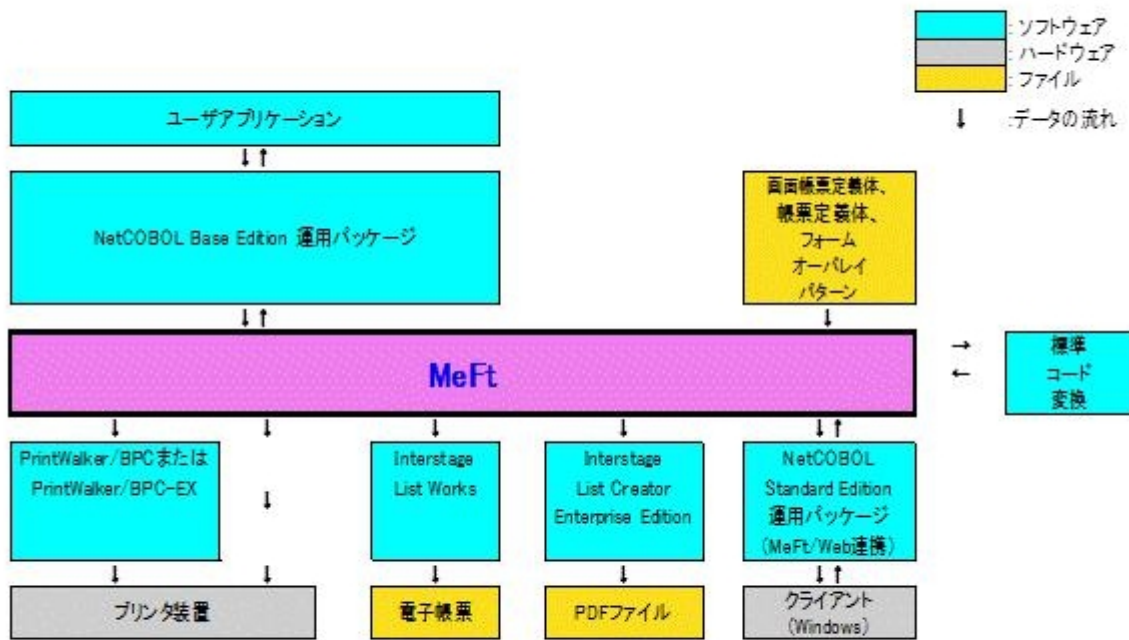
- ・バーコードの印刷

各種バーコードを印刷することができます。

## 3. 利用による効果

- ・プリンタの面倒な制御をMeFtが行うので、プログラムは業務固有の処理に専念することができ、業務プログラムの生産性が向上します。
- ・プリンタ機種に合った効果的な印刷データを生成することによって、きめ細かな帳票を高速に印刷できます。
- ・MeFt/NET連携により、FMV シリーズなどをSolaris(TM) Operating Systemの端末システムとして利用する業務を作成できます。また、FMV シリーズなどへの負荷分散によりSolaris OSのレスポンスの向上が図れます。
- ・MeFt/Web連携により、クライアントのパソコン上のWWWブラウザにMeFtの画面や印刷のプレビューが表示できたり、クライアントのパソコンから印刷ができます。

- ・PrintWalker/BPCまたはPrintWalker/BPC-EXと組み合わせて使用することで、VSPシリーズへの印刷が可能になり、基幹系帳票印刷がより一層強化されます。
- ・VSPシリーズのレーザープリンタ装置では、郵政省のカスタマバーコードが印刷できます。
- ・Interstage List Works Standard EditionまたはInterstage List Works Enterprise Editionと組み合わせて使用することで、MeFtの帳票を電子化することができます。
- ・Interstage List Creator Enterprise Editionと組み合わせて使用することで、印刷結果をPDF形式のファイルに出力できるので、印刷結果の流通が容易になります。



V10.0.1からV10a (V10.0.1)の機能強化項目は以下のとおりです。

- ・内部コンポーネントを入れ替えました。

- ・ **オンラインマニュアル**

- ・ MeFt V10.0.1 リリース情報(B1WD-1531-06Z0(00)/PDF形式)
- ・ MeFt V10.0 ユーザーズガイド(J2S2-1500-03Z0(00)/PDF形式)
- ・ MeFt V10.0 メッセージ集(J2S2-1510-02Z0(00)/PDF形式)



MeFt メディアパック V10a (V10.0.1)

MeFt プロセッサライセンス (1年間24時間サポート付) V10a

本商品のライセンス製品には、初年度の「SupportDesk Standard」がバンドルされています。

### 1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体(CD-ROM等)のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途ライセンスを購入する必要があります。また、商品の導入にあたり、最低1本のメディアパックが必要です。バージョンアップ/レベルアップを目的に本メディアパックのみを手配することはできません。

### 2. プロセッサライセンスについて

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下のとおりに必要となるライセンスです。

- ・シングルコアプロセッサの場合は、1プロセッサ (CODモデルの場合はCPU RTUライセンスを持つ1稼働CPU) あたり1本の購入が必要です。
  - ・マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数 (小数点以下端数切上げ) 分のライセンスの購入が必要です。
    - SPARC M12/M10 では、CPU コアアクティベーションキーにより有効化されたコアの総数に特定の係数を乗じます。
    - SPARC Enterprise/PRIMEPOWER のCOD モデルでは、CPU RTU ライセンスを持つ稼働CPU 上のコアの総数に特定の係数を乗じます。
- マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「富士通ソフトウェア情報」内、「富士通製ミドルウェア商品のライセンス体系について」を参照ください。

### 3. V8.x以降からのバージョンアップについて

V8.x以降の本商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、新バージョンを提供いたします。(お客様からのご要求が必要です。)

「SupportDesk」を導入されていない場合は、新バージョン商品を改めてご購入頂く必要があります(価格の優遇はございません)のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SE にお問合せください。

### 4. 7.x以前からのバージョンアップ時について

7.x以前の本商品をお持ちの場合は、弊社営業/SEにお問い合わせください。

### 5. ダウングレード使用(旧レベル商品の使用)について

本商品のライセンスでは、ダウングレード使用(本商品の旧レベルを使用)する権利はありません。対象のレベルを使用する場合は、対象のレベルに対応したライセンスをご購入ください。

### 6. クラスタシステムにおける製品のライセンス

相互待機形態(Active/Active)で運用する場合は、各サーバに製品を購入する必要があります。ただし、運用待機形態(Active/Passive)で運用する場合は、通常運用時に待機ノードとなっているサーバには運用ノードで購入したライセンスを使用できます。

### 1. 関連ソフトウェア

COBOLアプリケーションからMeFtを利用する場合に必要な

- NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ V8.0L10以降
- NetCOBOL Base Edition 運用パッケージ V8.0L10以降
- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ V8.0L10以降
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ V8.0L10以降
- NetCOBOL Professional Edition 開発・運用パッケージ V8.0L10以降
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ V9.0L10以降
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ V9.0L10以降

サーバ上で実行しているアプリケーションをWindowsクライアントで入出力する場合に必要な

- MeFt/NET-SV 1.1

VSPプリンタへ出力する場合に必要な

- PrintWalker/BPC 4.2以降
- PrintWalker/BPC-EX 4.2以降

JEF拡張漢字およびJEF拡張非漢字の印刷をする場合に必要な

- 日本語拡張印刷オプション 1.2.8以降
- 日本語拡張印刷ゴシック体オプション 1.0.3以降

印刷結果を電子帳票化する場合に必要な

- Interstage List Works Enterprise Edition 8.0.0以降
- Interstage List Works Standard Edition 8.0.0以降

印刷結果をPDF形式にする場合に必要な

- Interstage List Creator Enterprise Edition 8.0.0以降

画面帳票定義体を作成・編集するのに必要な

- Windows版 FORM V3.0L20以降

## 1. 関連ハードウェア

VSPシリーズのプリンタ装置

- ・V10から画面機能、多目的プリンタ機能およびXML入出力処理は非サポートです。
- ・MeFtの機能は、NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ V10、NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ V10、NetCOBOL Professional Edition 開発・運用パッケージ V10、NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ V10およびNetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ V10に含まれています。
- ・Windows版のFORMを使用して、画面帳票定義体、帳票定義体を作成しておきます。
- ・フォームオーバーレイパターンを利用する場合は、WindowsのFORMオーバーレイオプションでフォームオーバーレイパターンを作成しておきます。
- ・VSPシリーズに印刷する場合は、PrintWalker/BPC 4.2以降 またはPrintWalker/BPC-EX 4.2以降が必要です。
- ・U90拡張漢字を印刷する場合は、日本語拡張印刷オプション 1.2.8以降が必要です。
- ・PC漢字(シフトJIS)ロケール(ja\_JP.PCK)で印刷を行う場合は、標準コード変換 1.2以降またはInterstage Charset Manager Standard Edition Agent 7.0以降が必要です。
- ・UTF-8ロケール(ja\_JP.UTF-8)で印刷を行う場合は、標準コード変換 1.2以降またはInterstage Charset Manager Standard Edition Agent 7.0以降が必要です。
- ・電子帳票を出力する場合は、標準コード変換 1.2以降またはInterstage Charset Manager Standard Edition Agent 7.0以降およびInterstage List Works Enterprise Edition 8.0.0以降またはInterstage List Works Standard Edition 8.0.0以降が必要です。
- ・電子帳票を出力する時に出力可能なバーコードの種類は、JAN標準、JAN短縮、CODE 3 OF 9、NW-7、カスタマバーコード、U.S.POSTNET、U.S.Postal FIM、QRコード、CODE128、EAN128、EAN-128 (コンビニエンスストア向け)、Interleaved 2 out of 5、Industrial 2 out of 5、UPC-Aコード、UPC-Eコード、EAN-13の16種類です。
- ・PDF形式のファイルに出力する場合は、標準コード変換 1.2以降またはInterstage Charset Manager Standard Edition Agent 7.0以降およびInterstage List Creator Enterprise Edition 8.0.0以降が必要です。
- ・PDF形式のファイルに出力可能なバーコードの種類は、JAN標準、JAN短縮、CODE 3 OF 9、NW-7、カスタマバーコード、U.S.POSTNET、U.S.Postal FIM、QRコード、CODE128、EAN128、EAN-128 (コンビニエンスストア向け)、Interleaved 2 out of 5、Industrial 2 out of 5、UPC-Aコード、UPC-Eコード、EAN-13、CODE 3 OF 9(EIAJ準拠)の17種類です。
- ・VSPプリンタにFNPモードで印刷を行う場合は、標準コード変換1.2以降またはInterstage Charset Manager Standard Edition Agent 7.0以降が必要です。
- ・VSPシリーズに印刷する場合、電子帳票を出力する場合、およびPDF形式のファイルに出力する場合に限り、U90拡張漢字、および外字が出力できます。ただし、VSPシリーズにFNPモードで印刷する場合およびPDF出力する場合、一部の文字が出力されない場合があります。その場合、標準コード変換またはInterstage Charset Manager Standard Edition AgentにU90からUCS2への変換規則を登録するか、利用者定義文字で代替してください。
- ・VSP4902/VSP4951A/VSP4971/VSP4980/VSP4720/VSP4620A/PS5600A/PS5600B/PS5230A/PS5230B/PS5110BIは、FNPモードでのみ使用可能です。FMモードでの使用はできません。
- ・V8以降、富士通FMプリンタ装置 (F7967C、F7967D、JFPRN603、F7965D2、FMLBP226およびFMPR-372) への印刷は非サポートです。

## お客様向けURL

- **FUJITSU Software (NetCOBOL)**

本商品の詳細は、以下のNetCOBOLホームページを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/middleware/business-middleware/middleware/cobol/>

- **FUJITSU Software (インフォメーション&ダウンロード)**

「ライセンスについて、くわしく知る」の項で、富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>